



# 本部申24号「『能力昇給』および『昇格昇給額』の見直し」に関する申し入れ提出！

5月7日に会社より提案を受けて以降、組合員のみなさんと共に「人事・賃金制度の見直し」に対する解明要求づくりを取り組み、第三次草案まで基本要求进行上げてきました。

1月9日中央本部は、「能力昇給」および「昇格昇給額」の見直しに関する基本要求进行提出了。要求に結集し「定年退職まで安心して働ける制度・労働環境」をみんなで実現しましょう！

## 本部申24号申し入れ項目

1. 能力昇給へ移行せず、職制別に一律の定期昇給制度とすること。  
昇給額は以下のとおりとすること。  
主幹職A・TL職A 6,200円 主幹職B・TL職B 6,100円  
主務職 5,500円 主任職 4,800円 指導職 4,700円 係職 4,600円
2. 主任職以下の昇格昇給額を増額し、昇給額は以下のとおりとすること。  
係職1等級⇔係職2等級 7,000円 係職2等級⇔指導職1等級 9,000円  
指導職1等級⇔指導職2等級 8,000円  
指導職2等級⇔主任職1等級 11,000円  
主任職1等級⇔主任職2等級 9,000円

「能力昇給」は、評価基準の明確性、透明性、公平性が重要です。現在も期末手当の成績率や基本給改訂における特別加給の運用などでも評価基準などが、十分に示されていません。

このような状況で、昇給を能力評価で行うことは、社員が理解納得できるものではありません。鉄道事業は、社員の協力・信頼関係により、安全を支えています。評価を意識することにより、安全が損なわれてはなりません。安全・安定輸送は鉄道の根幹であり「安全最優先」と整合する賃金制度を求めます。

## 要求に結集し「定年退職まで安心して働ける制度・労働環境」を実現しよう！